

1月の園だより

謹賀新年

学校法人 鶴来学園
鶴来第二幼稚園

新年明けまして、おめでとうございます。昨年を表す漢字一字は「災」でしたが、今年は穏やかで平和な年となりますよう祈念したいと思います。

さて、年末年始はどのようにお過ごしになりましたか？ 私は身体のちょっとした不具合を治すために、冬休み期間を利用して入院と手術を行ってきました。鼻中隔湾曲症といい、鼻の骨が通常よりも強く曲がっているために片側の鼻がほぼ塞がっている状態を治すための手術です。子どもの頃から水泳や長距離走が苦手（すぐに息が上がってしまう）で、大人になってからは時折ひどい偏頭痛があり、季節の変わり目には喉痛や咳で辛い思いをすることが多くありました。自分はそのような体質なのだと思いついて長年思い込んで来ましたが、その原因が鼻にあると判ったのが今年の11月、長引く咳と喉の風邪（と思いきや）を診てもらうために内科を受診したところ、その医師は風邪ではない可能性を指摘し、内科ではなく耳鼻咽喉科の専門医（鼻内視鏡手術、頭頸部外科手術が可能）の受診を勧められたのがそのきっかけとなったのでした。そして今から8年前、偏頭痛がひどかった時に、今回の手術でお世話になった病院の別の科（脳神経外科）で梗塞等の疑いがないかどうか、MRIやCTなどの検査をしてもらったことがありました。その時は特に原因となるようなことは見つからず肩こりからくる頭痛という説明でした。しかし今回の執刀医はその時に撮影した検査の画像を見て即座に「この時にもう副鼻腔炎が発症しているのが写っていますね」と、専門外のことは検査画像に写っていても見えない（見ていない）ものなのだなあと思いました。

今回のこれら経験を通して、人は思い込みや興味（や専門）の対象がどうかによって実際には見えていても見えない（見ていない）ことがあって、普段から「ものごとをきちんと正しく見ていく」ということを意識していないと、見えているようで実は見えていないことがあるということを改めて気付かされました。

最初に私を診察した内科の医師はかなりのベテランの先生のようなのですが、その分野での経験や知識が豊富でも先入観を持たず、あらゆる可能性を排除せず、様々な角度から客観的かつ大局的に物事を見ることの大切さは、医師だけでなくどのような職業でも、また普段の生活においてもあてはまることだと思います。これからの社会は今よりさらに複雑化、多様化し、答えが必ずしも一つとは限らない時代になっていきます。そのような時代にリーダーシップを発揮することの出来る人財となるためには、子どもの頃からいろいろな経験を経験すること（大人の側は子どもが様々な経験ができる環境を与えること）、様々な経験を経験することを通して興味の対象を広げ深めること（無理に大人が広げ深めるのではなく、子どもが経験を通して自然と興味を広げ深めるのを見守ること）、本物に触れること（興味を持ったものを子どもが本物に触れられるようにすること）、そして本を読むこと（幼い頃は大人が読んであげる）がとても大切です。

幼い頃の遊びや生活での「経験」と「興味」が、本を読むことで得られる様々な「知識」と結びつき、いろいろな角度から興味を持って物事を見る事が出来るようになってきたり、関連することへの新たな興味につながり視野が広がります。幼稚園では、一人ひとりの教諭が工夫をこらして、生活や遊びを通して子どもたちがたくさんの経験を経験することが出来る環境を創ったり、なるべく自然なカタチで多くのことに興味を持つことが出来るようなきっかけづくりを行ったりしています。どの子がどのような経験を通して、何に興味を持つかは事前に判るものではありませんが、出来る限り多くのきっかけづくりと一人ひとりの子のすがたを見ていくことをこれからもしっかりと続けながら、教員みんなでこれからの社会において幼児教育が果たすべき役割を考えていきたいと思っております。教職員一同、本年も宜しくお願い致します。

幼稚園統括園長
中嶋 謙仁

1月の指導計画

幼稚園では各クラスの担任が下記の指導案に基づき、子どもたちの学びと育ちをサポートしています。各ご家庭においても下記（今月のねらい）をご理解いただき「今日は幼稚園でどんなことをしたの？」など、お子さまとコミュニケーションしたり、同様の視点でお子さまと接していただくことで、お子さまの成長を感じて頂ければと思います。

年長 自分なりの目当てをもち、繰り返し工夫したり挑戦したりする楽しさを味わう
思いや考えを言葉で伝え合い、友達と目的を共有しながら遊びや生活を進めるおもしろさを感じる
冬の自然事象に好奇心を持って関わり、探求することを楽しむ

年中 正月遊びや体を動かす遊びに興味を持ち自分なりの目当てを持って繰り返し取り組む。
冬の自然事象に気づき見たり触れたりして関心を持つ。

年少 身近な冬の自然の中で遊び、冬ならではの事象に興味をもつ
友だちや保育者とかかわる中で互いの思いを伝え合い、やり取りを楽しむ

未満児 寒い時期を元気を過ごせるようにする。
身の回りのことを自分でする。

子どもの姿（12月）

（年長）・コマが回せるように！と取り組み始めた子どもたち、次はコマ名人を目指し、今では皆で輪になり誰が一番長く回せるか・・・「ぶつかる！」「いけー!!!」と盛り上がりながら競い合っています。そして様々な技（手にのせたり綱渡りetc）を披露してくれています(^♪ 子どもたち皆で工夫する姿や、達成して喜ぶ姿が見られます。今日はコマ大会☆ さあ優勝は誰の手に!?

（年中）・表現会では緊張する表情もみられましたが、友達と一緒に表現する事を楽しんでいた子どもたち。表現会を経験した事で自分の踊りはもちろん、自分以外の踊りも繰り返し楽しんでいました。友達とイメージを共有し、劇ごっこで言葉のやり取りをしさらに、遊びが深まっていました。「自分たちで育てた野菜こんなに大きくなったね!!」という劇のセリフの通り、畑で育ったネギでネギお好み焼きクッキング!!「いいにおい♥」「おいしいね。」と手作りをみんなで味わいました。

（年少）・表現会が終わってからも、ダンス熱は健在の年少さん！自分たちのダンスだけでなく、全学年のダンスをノリノリ、かつ完コピで踊れちゃうんです！どこで覚えたのか、、、子どもの吸収力ってすごいですね。本当に感心です！
・ニュージーランドからしばらく日本に住む事になったJちゃん。その間幼稚園に通園していましたが、冬休みには国に帰ることになりました。皆に「Jちゃんは飛行機に乗ってニュージーランドのお家に帰ります」と伝えてお別れました。三学期が始まり、子ども達が「Jちゃんお休みやね!」「ディズニールランドいったんや」（えっ?）「違うよ〜お家に帰ってんよ」「英語の幼稚園に行ったかな」と、色々な声が聞こえました。皆、Jちゃんの事を思っているのだな、としみじみ。一期一会、とても素敵な出逢いになりました。

（満三歳児）・表現会が終わりまたひと回り成長を感じるこども達。特に女の子はすごいです。着替えなど身の回りのお手伝いをしてできないお友達のお手伝いをする姿も見られます。この前は「この赤ちゃんかわいいね!」と言いながら靴下をはかせている子も…同じ年なんだけどな(^_^;)頑張れ男子ー！と毎日励ましています。年少組に向けてお家でもできることが増えるように頑張りましょう!!

教職員の異動について

新任（1月1日付）宜しくおねがいします！

・米澤 絢子（補助教諭）